

第21号

○発行年月日
平成24年10月20日
○発行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
☎0470-28-2422
FAX0470-28-2424

にじのかけはし



季節の変わり目

夏の厳しい暑さもやっと終わり
木々は緑から赤や黄色に
色付く様子がみられ
日の暮れや肌寒さは
秋を知らせると同時に
冬に向かっていることを
知らせている
季節の変わり目は
心の衣替えの時
自分を振り返る
気持ちを切り替える
何かを新たに始める機会として
これからも
季節の変わり目を感じて
自分を見つめ直す
大切な時にしていきたい

管理部長就任

川名 房吉



10月から管理部長として勤めさせていただくことになりました。

民間に4年、役所に37年お世話になり、昨年定年退職した61歳です。

福祉の現場で働くのは初めてですが、施設がきれいに管理されていること、利用者の方々に優しく応援していることに感激しました。

早く職場に慣れたいと思います。皆さんが御存知のことをいろいろ教えてください。どうぞよろしくお願いいたします。



桜の里

「桜の里」

いよいよスタートしました。

所長 江部 純子

平成24年8月20日から、生活介護事業所「桜の里」が開所しました。皆さん、場所をご存知でしょうか？館山市山本地区テニスコート前の、以前はクラブハウスとして使用されていた場所です。堰が近くであり、その周りには桜の木

が沢山あります。春にはピンク色の花が咲き、私達の心を和ませてくれることでしょう。そんな自然豊かな環境の中に「桜の里」はあります。サービス提供日は、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時までです。定員は20名で、

現在9名の方が登録されており、活動内容は日々変わりますが、現在は「体育活動」、「軽作業」、「創作活動(ちぎり絵やパズル)」等行っています。利用者の皆様のご要望やニーズをお聞きし、より充実した毎日が送れるようサポートさせて頂いています。いつもたくさん笑顔に包まれる桜の里である様に、職員一同一丸となり邁進してまいりたいと思います。



▲ホットケーキ作り



▲バッテリーキャップ作業



▲真剣な表情で

中里の家

中里ふれあい夏祭り

支援員 山田 正人



▲アンクリス・スイート・フラダンスの皆さん!!

8月9日に施設グラウンドにて『中里ふれあい夏祭り』を開催しました。昨年は途中雨が降るといいうハプニングがありました。今年はずいぶん暑い中、屋台の引き出しによる元気な太鼓叩きを合図に夏祭りがスタートしました。昨年度より利用者さんが参加し楽しめるよう考慮し「利用者さんが主体となる夏祭り」にすることを目標とさせて頂き、祭り屋台や盆踊りの時間を増やしてのプログラム構成としました。夏祭りの1か月前から白浜音頭や利用者さんからの要望を取りい



▲盆踊り

れた水戸黄門の曲での踊りを練習してきましたが、当日ステージの上で練習の成果を見せる利用者の方の中には自信溢れる表情の方や、上手でできるか不安な表情を見せる方など千差万別です。ですが、曲が流れるや元氣いっぱい踊りを見せ、楽しませてくれました。ステージ上では他にもアンクリス・スイート・フラスタジオの皆様によるフラダンスや里見流家元の皆様による日本舞踊と盆踊り、全国大学フラメンコの皆様によるフラメンコとどれも



▲全国学生フラメンコの皆さん!!

目を引き付ける素晴らしいパフォーマンスを披露して下さい、地域の方々も喜ばれていました。夜店では、協賛販売のお店が連なっており、皆さんのお腹を満たして下さいました。初出店の『隣の焼き鳥屋さん』や館山市親善大使の石井崇氏によるパエリアも行列をつくる好評ぶりでした。夏祭りの最大の楽しみは大抽選会です。昨年より多くの方が当選する喜びを感じてもらえるよう上位入賞者の他にハッピーサマー賞等も設け、当選枠を広げて実施したところ、ご好評いただけただけで嬉しく思います。今年700名強のお客様がご来場



▲皆で力を合わせて。「ソーレ!!」

して下さり、盛大に夏祭りを行うことができました。無事に終えることができ、準備を進めてきた実行委員としてもほっとしております。多くの方々にご来場頂きまして、地域との関わりの深さが増した「中里ふれあい夏祭り」になってきたことを実感しております。これもひとえにご協力・ご尽力下さった様々な方々のお力あってこそだと思います。ここに深く御礼申し上げます。今後もより一層地域交流の架け橋となる催事になるよう努めていきたいと思っております。

中里の家

二日別旅行

八景島

シーパラダイス

支援員 加藤 智大

8月30日・31日にかけて、二日別旅行で八景島シーパラダイスへ行ってきました。当日は快晴。旅行日和となりました。シーパラダイス館内は涼しく、快適に過ごすことができました。水槽はブルーにライトアップされ視覚からも涼しさが演出されていました。利用者さんは白熊やサメといった巨大生物に目をうばわれていました。

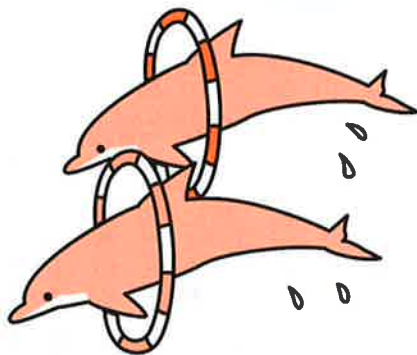
昼食は園内のバイキング形式レストランでパンや焼きそば、ウインナー、デザートに皆でチョコレートフォンデュを食べました。2日目はフーメン博物館へ行きました。入口ではチャルメラおじさんの等身大の人形が出迎えてくれました。そしてエレベーターを降りると、そこには昭和の景色

が広がっていました。私達は「支那そばや」に入りました。注文したのは、醤油ラーメン。スープがあつさりとしており、腰のある細麺はいくらでも食べられそうなほどのおいしさです。

一泊かけての旅行でしたので、時間にゆとりを持って見てまわることができました。また色々なものを食べ利用者さんにとっても充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。



▲おいしい!! ~Big smile~



▲八景島シーパラダイス -水族館-

ケアホーム 平砂浦

安房神社祭礼

ケアホーム平砂浦利用者

落合 正文

安房神社にみこしがいつぱいきてにぎわっていました。おてんきがよくてとてもあつかったけど、中里区のみなさんはがんばってみこしをかついでいました。ほくもがんばってみこしをかつぎました。地区のみなさんは、とてもしんせつにしてくれました。すぐくたのしかったので、また来年もさんかしたいとおもいました。



▲安房神社神輿

中里の家

御座います
お世話になります

みんなで行く袋田温泉の旅 支援員 安西 裕介



▲袋田の滝 ピース!!

中里の家では、9月20日・21日にかけて利用者さん、ご家族、職員、総勢138名で茨城県、袋田温泉へ行ってきました。

旅行3日前「なんか当日天気雨みたいだよ」と周りからの声。実行委員「そんなことはないですよ」携帯で天気を調べると「やっぱり雨マーク。「てるてる坊主を何個作りましょうか？」そして旅行当日。みんなの願いが通じたのか快晴。利用者の方々もいつになく早起きし忙しい中、バス4台に乗り込



▲ぶどう甘〜い!!

相やピンクレディーで扮装した職員は、とても緊張していましたが爆笑の連続でした。
2日目

み出発。バスの中では、カラオケで盛り上がりながら、途中高速道路からスカイツリーを眺め茨城県へ。1日目は、常磐太田市にある、ぶどう狩り園へ行き巨峰をお腹一杯食べてから日本三名瀑と言われている「袋田の滝」へ行きました。坂道は少し大変でしたが前日までの雨で水量も多く絶景でした。ホテルでは、温泉で疲れを癒し恒例となっている中里大宴会。現地の名産物が並んだ美味しい料理を食べながら職員による余興や利用者さんのカラオケなどで盛り上がりました。余興では、小泉元首



▲乾杯〜♪

は、大洗にあるアクアワールド水族館へ行き、日本一大きいマンボウの剥製や54種類のサメ、イルカとアシカのショーなどを観て楽しみました。そして那珂湊での昼食では、ジャンボエビフライの大きさに皆びっくり!?その他にもマグロのお刺身や、赤貝等食べごたえ十分なおかずでご飯のお代わりも進みました。少し雨にも降られましたが、旅行後、利用者さんから「ぶどう甘くて美味しかった」「また行きたい」という声をかけて頂き、実行委員一同うれしく感じております。皆さまのご協力により無事に旅行を終えることができました。ありがとうございました。

中里ワークホーム

やわたんまち

支援員 小高 夏美



▲地域の方々と一緒に

9月15・16日に八幡の祭りに行ってきました。毎年、八幡の祭りは雨が降ると言われているのですが、今年もやはり雨が降ってしまいました。しかし、境内の方へ見学に行く頃にはとても良い天気になり暑いくらいでした。たくさんのお店が出ていて、皆さんそれぞれ、大判焼きを買ったり、バナナチョコを買ったりしてお祭りの雰囲気を楽しみました。

こすもす

夏の過ごし方

所長 押元 昇



▲最高!! プール遊び

今年の夏は「暑い。」毎年こう思いながら、長い夏休みがスタート。そんな中で、こすもすでは、毎日子供達の遊ぶ元気な声や職員(大きな子供!)の声と交じり合うと言ったにぎやかな日々を過ごしました。

夏休みといえば、ピニールプールを使用しての庭での水遊び・砂遊びやマイクロバスでのドライブ。そして、皆の大好きな甘くておいしいスイカも食べました。暑さにも負けず元気な子供達に、大きな子供達はたじたと書いた夏休みでした。



▲見て!! 見て!!



▲すいかおいし〜!!

ご家族の皆様には、この夏休み期間の利用につきまして利用制限を設けさせて頂きましたこと、ご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

中里
ワークホーム

可能性に

必要なものは?

支援員 中西 豊

8月31日から9月10日までの約一週間かけて稲刈りの作業が行われました。一時的に雨に降られましたが、ほぼ快晴。炎天下の中、コンバインによる刈り取りが無事終了し、去年と同様平均して一反当たり7俵のお米がとれた計算になります。「よりよい米を豊作にどのようにして収穫するか」を考え、環境を整えることで、稲の可能性を伸ばすこともできれば、小さくしてしまうこともある。お米にしろ、人間にしろ、どんな環境で育つのか? というのがとても大切なことだと気づきました。今年は農業の経験が20年以上もある利用者の方が加わり、コンバインの運転も手慣れており手際よく作業を行うことができました。今後は、利用者の方の可能性を伸ばせるような環境を考え、実りある人生を送ってもらえるような支援の「在り方」を心掛けていきたいと思えました。



▲収穫作業



揺れ動く障害者雇用制度の狭間で…

障害者就職・生活支援センター中里
所長 杉村 利之

今年度初め、障害者のトライアル雇用（試用雇用）の停止という話題で就労支援の現場に激震が走りました。適用基準の緩和に伴い財源が底を尽きるという理由でしたが、結局、ニーズの高さと有効性を考慮し、本来の主旨に戻り障害者雇用の経験のない企業には活用再開となりました。そんな中、去年はハローワークを通じて一般企業に就職された障がい者が過去最高（約6万人）を記録しました。長引く景気低迷が推移している状況下、なぜ障がい者の就労件数が過去最高となっているのか？そこには2つのポイントがあると思います。障害者自立支援法の施行により、障がい者の地域移行・社会参加が推進され、福祉的サービスが充実してきたこと。障害者雇用促進法の改正により、障がい者の社会参加がより推進されていることが大きな要因だと思われます。（当然ナカポツセンターの拡充も挙げられます。）特に障害者雇用促進法に関しては、納付制度対象企業の拡大、除外率の引き下げ、短時間労働者を法定雇用率の算出に含むこと等、一部改正を繰り返し、企業に対しての啓発に多大なる効果を発揮しています。そんな追い風に乗って当センターも順風満帆!?という感じですが、さらに次年度より障害者雇用率が2.0%へ引き上げられ、今後精神障害者の雇用義務化というような話もあります。しかし障がい者・支援側にとっては手放して喜べない現状もあります。それは地域企業を回らせていただいている中で業績の良い企業はほんの一部で事業縮小や人員削減を余儀なくされる企業も少なくありません。まずは景気対策が優先では？という思いもあります。しかし、支援者としては企業側に障がい者の可能性を理解いただき、支援制度や助成金の活用等を勧め、コンプライアンスの理念を説いていくのが使命だと思っています。

私たちにできることは微力ですが、障がい者の働きたいという思いと不況の渦中にある企業の思いを十分にくみ取りながら、障がい者と企業との架け橋を数多く築いていきたいと思っています。

中里 ワークホーム

新厨房になって

調理員 川名 卓也

6月18日より改修工事が始まり、農産加工室での調理作業を8月5日までしてきました。

改修工事の終了まで使い捨て容器の使用となり皆様にはご迷惑をおかけしました。

新厨房にはコンベア式の食器洗浄機・スチームコンベクションオープン・茹で麺機の3種類が新機器として稼働しています。冷蔵・冷凍庫・食器乾燥庫も今までのものより容量が増え重宝しています。

スチームコンベクションオープンの納入によりこれから料理のバリエーションも多彩になると思います。

また、厨房が広くなったことにより歩く範囲が多くなったことから厨房職員の日エットにも期待できると思っています!!



ビーバー号を 実施して

看護師 岩成 美穂

歯科医師・歯科衛生士の方々の協力により、歯科巡回診察「ビーバー号」が今年度もやって来ました。

当日は、口腔検診・ブラッシング指導を主に行い、利用者の方も2年に一度とはいえ慣れた様子で実施することができました。普段歯科通院が困難な方の口腔内の状態を診て頂いたり、自分で磨ける方は鏡を見ながら染め出しにより赤く染まった歯を見て、どこが磨けていないかをチェックする等、専門的な指導を受けるよい機会となりました。

また、午後からは職員を対象に歯磨き介助の実技指導も歯科衛生士さんに指導して頂き、上手く磨くコツを学ぶことが出来ました。

今後の歯磨き支援に役立てていきたいと考えております。



初戦突破!

中里ルーキーズ

支援員 川上 賢人

8月5日より安房郡市社会人野球大会が開幕しました。45チームがエントリーしており、どのチームも強豪ばかりでした。昨年度は、初戦敗退しているだけに、今年こそは！とナイン一同燃えていました。蓋を開けてみれば、なんと3回戦まで戦う事が出来ました。中でも輝いていた方が、



エース畠山施設長でした。2試合連続完封勝利を収め、ベスト16入りの原動力でした。チームのルーキーであり守りの中心、馬目の活躍や決勝打を放った金木、チームの要め小池・豊崎を軸にチーム全員で声を掛け合い、最高の試合となりました。勝った喜び以上にこのチームのメンバーと野球ができた事が嬉しかったです。

お忙しい中、応援に来て下さった皆様ありがとうございました。今後の中里ルーキーズに期待して下さい!

新職員紹介



支援員
木村 優子

初めまして、9月から中里の家で勤務させて頂いています。

初めての事ばかりで、迷惑をおかけしてしまう事が多いですが、一日、一日を大事にして、利用者みなさんと、楽しく交わっていけたらと思います。早く仕事に慣れて戦力になれたらと思いますので宜しくお願いします。

中里ふれあい祭



※雨天決行

平成24年11月3日(土) 10:30~14:30

中里の家・中里ワークホーム、ふれあい祭を実施致します。地域の方々とのふれあいの場と施設に対する理解を深めていただくことを目的に、ラーメン、焼きそばなど様々な模擬店や新米すくい取り、紅白餅 200組無料配布やお子様限定100名に風船をプレゼント致します。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ボランティアの お知らせ

中里の家・中里ワークホーム・こすもす・桜の里では、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さい。心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家
館山市中里 288-1
☎ 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム
館山市中里 291
☎ 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>

編集後記

秋も深まり、少しずつ涼しくなっておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

これから、わかりやすい記事をお送りしていきたいと思っております。

(大岩)

